

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月26日

事業所名 littleアリス

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		整理整頓を心掛けております。	法令で定められたスペースを確保しております。
	2 職員の配置数は適切である	○		保育士・児童指導員等配置しております。	配置基準を順守して配置しております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		建物の制限がありますが、出来る限りの配慮をしております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		掃除・消毒を日々行い、活動に合わせて配置等を変更しております。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		全職員で話し合いの時間を設けております。	目標を設定し期間を定め振り返り、改善点等を検討し行えるようにしております。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		職員間で話し合い業務の改善につなげております。	集計したものは今後の改善点として活用させていただきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			自事業所のホームページにて公開しております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員間での研修情報の共有を行っております。	外部研修への参加を継続して実施していきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		一人一人の課題を職員間で議論し、計画に反映出来るようにしております。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		誰でも記入しやすく分かりやすいアセスメントツールが出来るように心がけております。	情報が整理しやすいように、定期的に見直していきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		ミーティングを行い、計画に沿った支援が出来るようにしております。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々のミーティングで職員全体で考えております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		一人一人の体調や様子を観察しながら支援しております。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			状況に応じて、個人や集団で適切に関わっていけるようにしておりますが、引き続き課題としていきます。
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前にミーティングを行い、職員全体に伝えるようにしております。	伝達等をしっかり行い適切に関わっていけるように引き続き課題としていきます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後にミーティングを行い共有出来るようにしております。	伝達シートや記録等を通して共有出来るように心がけていきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録の大切さを都度説明し、伝えております。	日々の記録が大切な事を職員全体が考え、より良い記録が出来るように検討していきます。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		職員全体で話し合い必要性を判断しております。	必要に応じて、計画へ反映出来るように検討していきます。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		職員間で参加者を決めております。	児童発達管理責任者だけでなく、児童に関わる全職員の参加も継続して実施していきます。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			相談支援専門員を通して行っております。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		活動できる場を設けていけるよう検討していきます。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			積極的に参加出来るように、今後の課題とします。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		状況や課題等を送迎時に必ずお伝えしております。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		話し合いをした上で今後実施していけるよう課題としていきます。	
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に十分な時間を頂き説明しております。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援計画書を作成した時には、内容について説明しております。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があればいつでも一緒に考えていけるように努めております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		親子クッキング等で保護者同士が交流できる場を設けております。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談があればいつでも一緒に考えていけるように努め対応出来るようにしております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		お便りやSNSで発信するよう努めております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		全職員に書面にて説明しております。	個人情報の取り扱いや大切さ等、全職員が引き続き注意出来るようにしていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡帳を作成し送迎時にお伝え出来るようにしております。	必要に応じ、文章にルビを入れる等の配慮を引き続き課題としていきます。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	利用できる場所を開放しております。	地域の方が気軽に参加できる行事等を検討していきます。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを作成し、書面にて配布説明しております。	定期的な見直しを行い、必要に応じて変更等を行っていきます。周知の仕方に関しては今後の課題としていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回の訓練を行っております。	物品の確認や、経路の確認等引き続き行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		薬情等のコピーを頂いております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		聞き取り調査をしっかりと行っております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		書面にて共有出来るようにしております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止研修に参加し、職員全体へ伝達しております。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束についての研修を行っております。	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのか、手順や記録等を含め再確認を行っていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 littleアリス 保護者等数(児童数) 回収数 割合 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	8	3				
	2 職員の配置数や専門性は適切である	10			1		配置数は、指定基準を順守しております。専門性を高めていけるよう、定期的に研修へ参加を継続していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10			1		障がいの特性に応じ、できる限りの配慮を行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	1			冬場、加湿器等は設置されていますが、窓が少なく換気できないためか、空気がこもっていることがあるので感染症が心配。	定期的な消毒や換気を行っておりますが、環境に配慮するように検討していきます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	11					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	11					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6		4	1		交流の場を広げていけるよう検討していきます。
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	11					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	11					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	6	2	1	2		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10	1				
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	9	2				
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	3	5	2		保護者会等開催しております。
16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	10			1		相談や申し入れを受けた際には、迅速に対応ができるよう体制を整えております。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	11					
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	9	1		1		おたよりやホームページ等で活動内容を発信しております。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	10			1		個人情報の取り扱いについて、十分に注意するよう定期的に注意喚起しております。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	8			3		マニュアルを策定しております。実施については報告する旨を検討していきます。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	7		1	3	訓練はされているのでしょうか？	実施した旨報告するように検討していきます。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	10	1				
	23 事業所の支援に満足している	10			1	・とても助かっています。 ・問題があるとしたら、送迎の問題があり。(仕事があるので送迎がきつい)	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。